

地方創生加速化交付金・平成28年度地方創生推進交付金の効果検証について

1. 地方創生加速化交付金

No.	交付対象事業	担当課	総合戦略への位置づけ	充当額（円）	重要業績指標（KPI）					実施結果	自己評価	今後の方針
					指標	当初値	目標値	目標年月	実績値			
1	大学退職教職員等の知識や技術の継承 【高度ものづくり技術アドバイザー事業】 【御用聞き型企業訪問事業】 【企業魅力発掘プロジェクト】 【新製品・新技術開発推進事業】	【高度ものづくり技術アドバイザー事業】 政策推進課 産業政策課 【それ以外】 産業政策課	事業No.38 大学退職教員等の知識や技術の継承	18,794,101	大学退職教員登録	—	10名 40名	平成29年3月 平成32年3月	10名	・大学退職教職員等の知識や技術を継承する下地づくりとして有識者に対しPRを行い、退職大学教員を中心にアドバイザーとして登録、登録内容をホームページにて公表することで、「高度ものづくり技術アドバイザー派遣」の実施体制を構築 ・経営改善の提案及び課題解決の支援として、産学官が連携して企業を訪問する「御用聞き型企業訪問」を実施（H28年度：188回） ・長期化や高額化の傾向がある新製品・新技術の開発経費の一部を助成（H28年度：7件）	③地方創生に効果があった	・アドバイザー派遣体制が確立されたが、企業ニーズに幅広く対応するため、さらなるアドバイザーの確保と事業の周知を進めることにより、市内企業の利用増を目指す。 ・訪問を希望する企業のニーズを的確に捉えた支援となっているか検証しながら、より実効性の高い企業訪問を展開していく。 ・新製品・新技術の開発動向は日々変化していることから、動向を注視しながら補助内容を改善していく。 ・従来事業でのマッチングや開発費用の支援など、有機的な連携をさらに機能させていく。
					専門家の派遣回数※	—	10回/年 30回/年	平成29年3月 平成32年3月	0回/年			
					製品開発実施件数※	—	5件/年 10件/年	平成29年3月 平成32年3月	0件/年			
					共同研究実施件数※	—	3件/年 7件/年	平成29年3月 平成32年3月	0件/年			

※御用聞き型企業訪問事業や企業魅力発掘プロジェクトのうち、大学退職教員登録者（上記10名）を活用した実績

2. 平成28年度地方創生推進交付金

No.	交付対象事業	担当課	総合戦略への位置づけ	充当額（円）	重要業績指標（KPI）					実施結果	自己評価	今後の方針
					指標	当初値	目標値	目標年月	実績値			
1	ジョブセンターまえばしを核とした若者及び女性の就職支援事業 【総合的若者・子育て女性就職支援事業】 【ジョブセンターまえばし改修工事】 【事業所内保育施設設置促進補助金】	産業政策課	事業No.3 「ジョブセンターまえばし」による包括的就職支援	5,671,128	前橋市内の転入者の割合（15～39歳）	96.9%	97.0% 97.2%	平成29年3月 平成31年3月	94.8%	・ジョブセンターまえばしを開設するため改修工事や備品の購入などを実施し、施設の本稼働（H29年4月）に向け、H29年3月から就職支援窓口及びハローワーク窓口を開始 ・企業主導型の事業所内保育施設を設置した企業へ、費用の一部を助成（2件・繰越）	②地方創生に相当程度効果があった	・ジョブセンターまえばしにおけるハローワークと連携した総合的な就職支援事業を効果的に実施し、利用者の確保に努めるとともに、就職・定着につなげていく。 ・事業所内保育施設の設置を促進し、市内企業で働く女性を中心とした子育て世代の就職・職場定着を図る。
			事業No.4 子育てママの再就職支援		事業所内保育施設新設企業における女性の採用者数	—	— 15人	平成29年3月 平成31年3月	—			
			事業No.5 事業所内保育施設の設置支援		ジョブセンターまえばし利用登録者の市内事業所就職者数	—	— 200人	平成29年3月 平成31年3月	—			
2	前橋版C R C C推進事業 【前橋版CCRC事業予定者募集事業】 【前橋版CCRC構想策定推進事業】	政策推進課	事業No.40 前橋版CCRCの推進	6,989,000	入居者数に占める市外からの転入者	—	— 40人	平成29年3月 平成33年3月	—	・健康医療都市の強みを活かしたシンボル事業の一つとして位置づけられる「前橋版CCRC構想」を策定し、公表 ・「前橋版CCRC構想」に基づく第一弾の拠点として、前橋赤十字病院跡地を活用した「日赤跡地生涯活躍のまち（CCRC）事業」を推進するため、同事業に係る計画付事業予定者の公募を開始	③地方創生に効果があった	・「日赤跡地生涯活躍のまち（CCRC）事業」について、応募事業者からの提案書類の審査等を行い、優先交渉権者を決定する。その後、優先交渉権者と基本協定を締結し、基本計画策定や事業契約に係る協議を進め、平成29年度中の事業契約締結を目指す。 ・「前橋版CCRC構想」に基づく、市内複数箇所でのCCRC拠点の実現可能性について検討を進める。
					入居者数	—	— 50人	平成29年3月 平成33年3月	—			
					協議会の開催回数	—	6回 6回	平成29年3月 平成33年3月	2回			
3	赤城山観光振興のためのDMO振興事業 【赤城山ツーリズムモニター事業】 【赤城山ツーリズム支援事業】	観光振興課	事業No.29 赤城山ツーリズム	2,674,000	赤城山大洞地区観光客数	540,000人	542,000人 563,000人	平成29年3月 平成33年3月	549,485人	・赤城山をフィールドとして主に環境保護活動等に取り組んでいるNPO法人赤城自然塾に事務支援を行い、その一つとしてマネジメントやコーディネートに必要な情報収集や検証を行うモニターツアーを実施（モニターツアー実施回数：7本） ・その実績を踏まえ、さらに広域連携を視野に入れた赤城山ツーリズムを推進するため、平成29年3月28日に日本版DMO候補法人として正式に国（観光庁）に登録	②地方創生に相当程度効果があった	・日本版DMOの候補法人に登録された赤城自然塾の体制強化に向けて側面・財政・事務支援を行う。
					赤城温泉郷入湯者数	18,100人	18,500人 22,100人	平成29年3月 平成33年3月	16,190人			
					多機能ポータルサイトアクセス数	—	— 65,000回	平成29年3月 平成33年3月	—			

※自己評価

①地方創生に非常に効果的であった

②地方創生に相当程度効果があった

③地方創生に効果があった

④地方創生に対して効果がなかった